

## 第9期おだわら高齢者福祉介護計画の策定に対する市民意見の募集結果について

### 1 意見募集の概要

政策等の題名	第9期おだわら高齢者福祉介護計画の策定
政策等の案の公表の日	令和5年12月15日（金）
意見提出期間	令和5年12月15日（金）から令和6年1月15日（月）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ、高齢介護課窓口）

### 2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	11件（3人）
インターネット	1人
ファクシミリ	1人
郵送	0人
直接持参	1人
無効な意見提出	0人

### 3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	4件
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	0件
C	今後の検討のために参考とするもの	4件
D	その他（質問など）	3件

〈具体的な内容〉

(1) 支援体制に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	基本方針（４）包括の体制強化とは、具体的にどのようなものでしょうか。	D	「地域包括支援センターの体制強化」については、地域包括支援センターに求められる役割が肥大化している中、地域の相談窓口としての機能が安定的に提供できるよう、業務の進め方の見直しや改善、実情に即した職員配置等を通じて業務負担の軽減を図ることで、運営体制を強化するものです。（素案の 98～100 ページを参照）
2	第 8 期と比べ、基本方針 1～4 にあまり変化がないように思います。その中でも重層的支援体制の整備が新しいテーマだと思うのですが、この点についてもう少し具体的に表わしてもよいのでしょうか。 重層的な取組には今まで通りのことをしていても解決しないと思います。もう少し踏み込んだ目標ができることを期待しています。	D	「重層的支援体制の整備」については、対象者の属性や世代を問わない横断的な支援を行うことが主意となります。そのような観点から、本計画に留まらず、各課と連携しながら実情に即した施策を展開してまいります。
3	認知症初期集中支援事業と重層的支援体制整備事業の会議と合同で開催するなど負担が大きくなならない工夫をご検討ください。	C	今後の事業実施の参考とさせていただきます。

4	<p>「重層的支援」というキーワードが今後の方策の中でも重要となっているかと思えます。対応や支援は地域、各専門機関、また市役所担当課等との「連携」なくして成り立たないと思えます。しかし重要となる「連携」の一つとっても関連する担当課それぞれの認識の違いなどが支援の阻害要因となっている現状もあると思えます。</p>	C	<p>今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>「重層的支援体制」の構築には、本当に基本的な部分ですが「必要な連携とは何か」など関連する担当課で最低限認識が共通となる事への働きかけも積極的かつ具体的にしていただければと願います。</p>	C	<p>今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>独居・高齢世帯、親族不在や老障世帯などの金銭管理等、アンカーサポートに関する体制整備の必要性・緊急性が非常に高まっています。あんしんセンターでは足りない、成年後見制度までではない（お金もない、時間もない、支援者もいない等）のはざまのケースが殆どです。そこにフィットするサポートがないのが現状で本人も</p>	C	<p>今後の事業実施の参考とさせていただきます</p>

	<p>支援者も右往左往しています。ひいては市の財政や業務にも影響する部分かと思えます。現在の民間サービスでは、信頼性があるのか、ありそうでも高額で利用できない等、安心して人生最期の時を暮らせません。ぜひ、行政も関わる形での体制構築をと思えます。</p>		
--	--	--	--

(2) その他

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	<p>3 ページ <u>おだわら高齢者福祉介護計画</u>並びに高齢者福祉施策及び介護保険事業の総合的かつ計画的な推進に関する事項→<u>本計画</u>並びに高齢者福祉施策及び介護保険事業の総合的かつ計画的な推進に関する事項</p>	A	御意見を踏まえ修正します。
2	<p>3 ページ <u>おだわら高齢者福祉介護計画</u>に基づく介護保険関係施設の整備に関する事項→<u>本計画</u>に基づく介護保険関係施設の整備に関する事項</p>	A	御意見を踏まえ修正します。
3	<p>98 ページ 高齢者福祉介護計画→<u>本計画</u></p>	A	御意見を踏まえ修正します。

4	8 ページ 平均余命は 0 歳での平均余命でよいですか？そうならばその旨を記載してください	A	御意見を踏まえ修正します。
5	67 ページ ふれあい担い手発掘事業の助成件数は単年度の件数、のべ件数どちらですか。	D	「ふれあい担い手発掘事業」の助成件数は単年度の件数です。